

ネットワーク ソフトウェア研究室

菊間 一宏

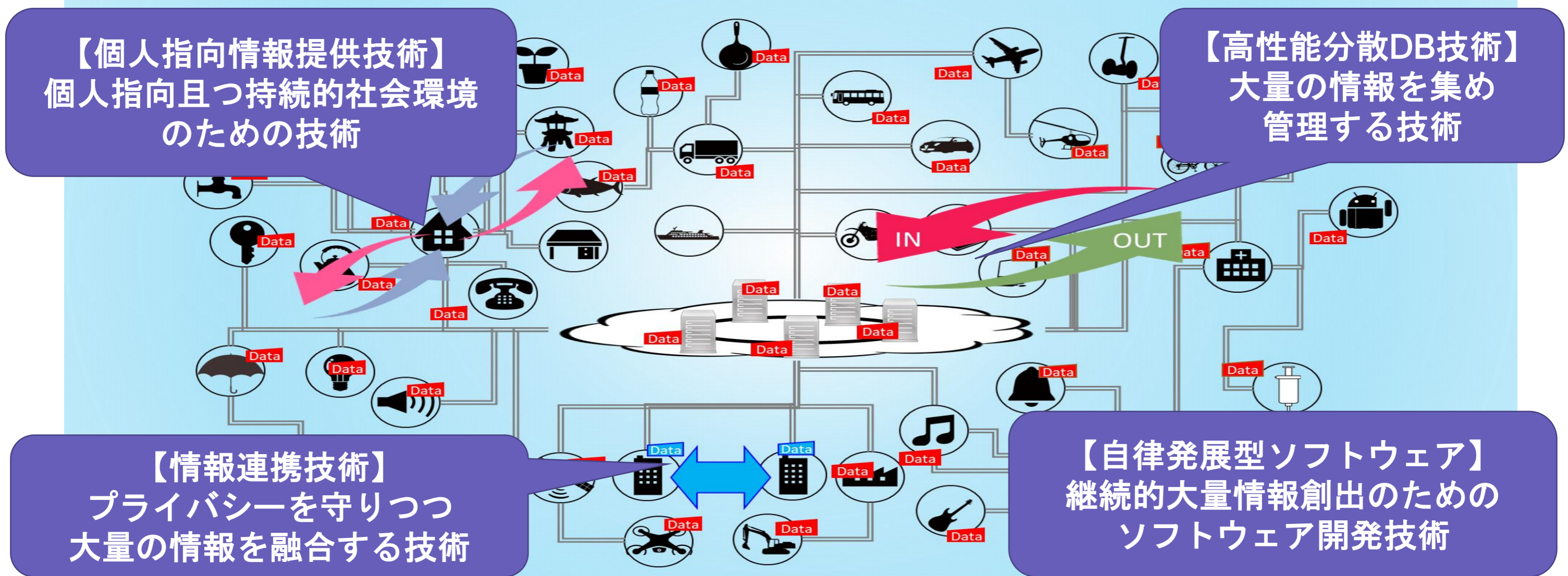
ネットワーク上のソフトウェアによって創出される情報の協調的な流通と、情報の管理・集約、蓄積データによる新たなサービスの創出

全てのモノがネットワークに繋がるIoT時代において、モノによって得られる情報（各種センサ情報、ヒトの行動履歴・位置情報・嗜好情報）は価値あるものですが、単独では有効性に限界があります。

しかし、情報を各々で協調させたり、大規模サーバが集約・蓄積した大量の情報から有用な情報を取り出し流通することにより、情報価値の飛躍的な増大が可能です。

その実現のために、セキュリティを保った情報融合／流通、AI技術を活用したビッグデータ分析による価値情報の抽出／提供、P2P通信に基づく効率的かつ安全な情報収集管理を研究します。また、これらを構成するソフトウェアの自律的な修復・アップデートを目指した開発技術を研究します。

すべてのモノがネットワークを通して繋がり、データが融合することで多くのネットワークサービスが創出されます。そして、そのサービスは多くの人々が頼りにする社会基盤となっています。



あらゆるモノから情報を収集し、ネットワーク上で安全に流通させ、情報の融合による新たな高品質／高信頼ネットワークサービスを創出し、提供します。

主な 研究テーマ

- ◆ セキュリティを確保したプロバイダ間の情報連携技術
- ◆ 分散データベースを高性能化するための構成技術
- ◆ 大量情報を利用した個人指向の情報提供技術
- ◆ 自律的な修復・アップデートを目指した、高信頼・高品質ソフトウェア開発技術